

随想：まち歩きと変わりゆく街

写真上は建設政策研究所『建設政策』第168号、2016年7月。特集は「熊本地震―被害実態と課題 復旧に向け地域建設業者・労働者が活躍」である。冒頭の鈴木浩「熊本地震における対応状況と課題―今後の方向性に向けて」など、タイムリーで参考になることが多い。鈴木先生は福島大学名誉教授、建設政策研究所副理事長であり、宮城県女川町の復興や福島原発災害などに関わってきた。なかでも福島原発では、多くのことを学ばせてもらった。

鈴木論文の最後がとりわけ示唆に富むので紹介しておく。

「創造的復興」が熊本県の復興の基本方針に掲げられた。「創造的復興」は、阪神・淡路、東日本の事例で示されたように、それぞれ異なった政治的・経済的パフォーマンスを導き、場合によっては「復興災害」をもたらす。「住民に寄り添う」「将来を見据える」「次への備えと次世代への継承」はもちろん重要であるが、何よりも透明性の高い的確な情報に被災者がアクセスできること、一人一人の生活再建とふるさとの復興のプロセスについて、被災者が復興の主体となって関われる場を構築していくことが重要である。もちろん、それは弁護士やプランナーなどの専門家がその支援ができるような仕組みが前提である。阪神・淡路大震災以来、その蓄積は様々な形で引き継がれている。予想される首都直下地震、南海トラフ地震などに備えて、実効性のある地域防災計画や政府・自治体による緊急時情報発信システムの充実を改めて点検する必要がある。

この『建設政策』冒頭に表題の随想を書かせてもらった。これにはすこし「わけ」がある。編集担当者の方が、わたしの「レポート集」をご覧になり、一度書かせてみようとなったようだ。ありがたいことである。最近、「レポート集」の読者(それも固定読者で、毎朝待っておられる)が増えつつある。また紹介したいが、ベテランのジャーナリストの方が読者であり、わたしのレポートを活用したいという嬉しい「お誘い」があったばかりだ。

そんなわけで随想を喜んで引き受け、表題テーマで推敲を繰り返して書いた。名駅東に行って「愚痴聞き地蔵さん」に久しぶりに再会し、名駅西のリニア用地買収の現場を訪ねた。

*なお、写真だと見にくいので、原稿を次ページに掲載しておきます。



(2016年7月6日)

まち歩きと変わりゆく街

昔からまち歩きが好きだ。地下鉄の駅をひとつ前で降り、ふらりと歩く。健康と気分転換のために。たいした用もないのに、街なかをぶらつく。とりわけ商店街や下町風情の街並みに誘われる。旅の途中でも、商店街を訪ねることが多い。地域の「いま」を垣間見ることができ、地元の人たちとのふれ合いも楽しめる。広い通りより、曲がりくねった細い路地は、なにかと「発見」の楽しみがある。

名古屋駅前、地元では「名駅」(メイエキ)と呼ぶ。名駅界隈をまち歩きしていたら、「愚痴聞き地蔵尊」に出会うことができた。もう10年ほど前のことだ。名駅から歩いて10分ほどの桂芳院のお地蔵さん。お地蔵さんの前にかがんで、日ごろの愚痴を聞いてもらう。ゼミの学生を連れて行ったら、「就活」での愚痴をこぼしていた。

名駅に来ると、ここまで足をのぼすことが多い。最初に訪ねた頃より、お寺はすっかり高層ビルに囲まれてしまった。お地蔵さんも愚痴をこぼしていることだろう。大学の講義や講演などで「宣伝」してきた。最近では、ブログなどでも紹介され、多くの人に知られるようになってきた。久しぶりに訪ねると、写真のようにお地蔵さんは赤い衣裳であった。季節ごとに「衣替え」しているようだ。お地蔵さんの前にかがみ、日ごろの愚痴をこぼして寺をあとにした。

今回訪ねたのはお地蔵さんに会うだけではなく、名駅周辺の変りゆく街をこの目で確かめるためだ。名駅周辺は、超高層ビルの建設が相次ぎ、開発ラッシュである。周辺の公示地価は、全国有数の上昇率。そして今、リニア中央新幹線の名古屋駅建設のため用地買収が進められている。買収対象は名駅の東西にまたがる約2万3千平方メートル。過去に例のない都心部での大規模な用地買収である(朝日新聞4月14日朝刊)。

用地買収はJR東海から地権者との交渉の委託を受けた名古屋市の外郭団体「名古屋まちづくり公社」が実施している。同記事によると、権利関係者が「横にも縦にも広がり複雑」であり、買収は難航している。とりわけ駅西(昔は「駅裏」と言われた)地区は、数多くの商業・雑居ビルが立ち並び、土地の権利関係は複雑で地権者も多い。ここは1964年の東海道新幹線の開業に向けて、大規模な再開発が行われた。あれから半世紀後、ふたたび「駅西大改造」である。

名駅界隈をまち歩きして、ビルに囲まれた空を見上げながらいろいろ考えさせられた。リニア中央新幹線2027年開業を前提にして、官民一体で大規模開発が進行している。リニアは南アルプスをはじめ、とてつもない環境破壊が危惧され、住民団体が提訴した。それと、名古屋市の外郭団体がJR東海の命を受け「地上げ屋」のようなことをしていることだ。変わりゆく街を眺めながら、またお地蔵さんに愚痴をこぼしたくなった。